

2003年7月9日付委員会記録

44形機関車の圧縮機： 昇圧時間が短縮、 効果は走行距離に応じて拡大

鉄道牽引・機関車部門（ソフィア）・委員会：REL 責任者・技師I.ペトロフ、「準備」工場長・技師V.トドロフ、マイ有限責任会社（処理実施者）

ブルガリア・ソフィア・観察期間2003年2月5日～7月9日、処理後の走行距離70,000 kmまで測定

製品

「XADO技術」
運用中の処理、圧縮機は分解不要

試験対象

機関車44-089.0の第1圧縮機
測定：空気だめの7 atmから8 atmまでの昇圧時間

文書の種類

委員会記録
鉄道牽引・機関車部門（ソフィア）とマイ有限責任会社

機械類

処理後の走行距離

測定項目

機関車44-089.0、第1圧縮機

18,000・50,000・
70,000 km空気だめの7 atmから8 atmまでの昇圧時間、
圧縮機の騒音・振動

圧縮機は運用中の機関車上で処理された。測定値は2003年2月5日、2003年5月25日および2003年7月9日付の測定記録から集約したものである。

主要な結果

↑ **40 %**

圧縮機の吐出し量、昇圧時間28 → 20 s

7 atmから8 atmまでの昇圧時間：処理後の走行距離別

測定	昇圧時間	処理前との差
処理前	28 s	—
処理後18,000 km走行時	26 s	-2 s
処理後50,000 km走行時	23 s	-5 s
処理後70,000 km走行時	20 s	-8 s

測定は運用中の機関車44-089.0で実施された。圧縮機は分解せずに処理された。

試験委員会の結論

観察は処理後の走行距離70,000 kmまで続き、昇圧時間は測定のたびに短縮した：**28 → 26 → 23 → 20 s**。鉄道牽引・機関車部門（ソフィア）とマイ有限責任会社の委員会は、次のとおり確認した。

1. 処理の結果、7 atmから8 atmまでの昇圧時間は**28%**短縮し、**20 s**となった。
2. 圧縮機の騒音と振動は著しく低減した。
3. 処理は運用中に、圧縮機を分解せずに実施される。委員会の結論：技術的見地から、40-00形機関車の圧縮機へのXADO技術の適用は妥当である。40.00形機関車の補助圧縮機の処理が提案された。

XADO

© XADO。無断転載を禁じる。

本結果は、鉄道牽引・機関車部門（ソフィア）の運用条件における44形機関車の圧縮機に関するものであり、条件が異なれば測定値は異なる場合がある。委員会記録の原本は全文が公開されており、ダウンロード可能である。処理は販売代理店マイ有限責任会社が実施し、同社は事業所と同等の立場で委員会記録に署名している。